

あけましておめでとうございます

今年の夏、A.T.Networkは開設して満13年になります。渋谷に事務所を構えて10年が過ぎようとしています。おかげさまで、この間に数多くのプロジェクトと出会い、各地で良い成果が得られてきました。これらの実績を踏まえて更に発展的な長期的ビジョンを持つ劇場・ホールづくり、ポジティブな改修などに今後も積極的に取り組んで参ります。

本年もよろしくお願い致します。

A.T.Network 代表 近江哲朗

杉戸町生涯学習センター〔PFI〕建設工事中

埼玉県・杉戸町でPFI事業による「杉戸町生涯学習センター」の建設が着工しました。図書館を主体としながら約300席の可変転換型ホールが共存します。BTO方式によるPFI事業であるためホール運営は杉戸町が運営機関となりますが、舞台芸術の枠を超えた幅広い利用が推測されるため、ハード面でもさまざまな工夫をし、かつランニングコストを低減化させる舞台設備などを積極的に考えた事例です。平成17年秋には竣工です。

資料-佐藤総合計画



平成誕生のホールでもこんなことがあります

昨年夏「かつしかシンフォニーヒルズ」の長期保全計画策定のお手伝いをしました。平成4年開館の施設で、ハード面・ソフト面で平成当初の象徴的な施設として注目された施設で、開館後12年にして長期的保全計画の検討に入るという極めて理想的な環境で調査サポートしました。最も驚いたことは舞台照明のコネクターがT型であったことで、翌年に開館した松戸市・森のホール21はC型です。こんな時期に転換期があったことを再認識しました。

写真-A.T.Network



劇場に改めてピュフェの必要性を見る

昨年12月、キラリ ふじみに1日限りの臨時カフェが登場しました。この日はウィーン弦楽四重奏団の公演日に合わせて、市民パワーによって実現したものです。キラリ ふじみには残念ながらレストランやカフェといった施設が無いので、臨時カフェは好評で予想を遥かに超えた集客が実現したようです。公演前や休憩時間にも盛況で、劇場に余裕機能としてのピュフェ・カフェの必要性を改めて感じました。

写真-A.T.Network



講師経験に学ぶ

2003年の東京理科大学に続いて、2004年は高知工科大学、武蔵工業大学で授業を各1回させて戴きました。やはり学生達は純粋です、社会人研修の際に大いに受けた話も意外と通じなかったり、でも積極的な姿勢と素直な目を見てるとついついこちらも純粋になって必死になって語りかけていました。Ohmi

体験型ワークショップとその環境に求められるもの

各地の公共ホールで市民参加ワークショップが活発に行われています。しかし、そのいずれもが良好な劇場・ホール環境で実施されているとは限りません。舞台制作のワークショップを実施している施設の舞台設備が現行の法規制や指針などに照らしたときに明かに不適切と判断される環境であるという事例は長い年月を経た施設の場合、決して少なくない状況にあります。市民参加ワークショップに参画されている市民には、その舞台環境が確実に安全であるか否かは判断ができません。より良い市民参加ワークショップは、その協働行為を実践する施設環境をまず良好な状態に保つ配慮から運営機関は考え直す必要があるように思われます。

編集後記

どうしても年末は日数が足りなく感じます。昨年12月もあと10日余計にあれば良かったと思ったりしましたが年末年始は結局お休みです。未練は事務所の大掃除が未完だったこと！

2005年のご案内・他

2005年業務開始 1月5日 (土・日・祝祭日は休日)
本年も近江・神戸・齊藤共に事務所を留守にする場合が考えられます、ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。